

「社会健康医学」基本計画策定委員会（第4回）会議録（議事要旨）

日 時	平成29年11月29日（水）午後3時00分から午後4時30分まで
場 所	ホテルアソシア静岡 15階「ベラビスタ」
出席者 職・氏名	出席委員：10名（敬称略） 本庶佑、佐古伊康、田中一成、鶴田憲一、徳永宏司、中山健夫、 宮田裕章、宮地良樹、望月律子、山本敏博 欠席委員：2名（敬称略） 鬼頭宏、山本清二 事務局 副知事 吉林章仁 健康福祉部長 山口重則 健康福祉部部長代理 池田和久 健康福祉部理事 壁下敏弘 健康福祉部理事 土屋厚子 健康福祉部管理局長 前島稔生 ほか健康福祉部職員
議 題	1 社会健康医学研究推進基本計画（仮称）の素案について 2 その他
配布資料	議事次第 「社会健康医学」基本計画策定委員会委員名簿 資料1 「社会健康医学」基本計画策定委員会（第4回）について 資料2 社会健康医学研究推進基本計画（仮称）素案の要旨 資料3 社会健康医学研究推進基本計画（仮称）素案 参考資料1 「社会健康医学」基本計画策定委員会（第3回）における意見 参考資料2 社会健康医学関連新聞記事

1 審議事項

- (1) 社会健康医学研究推進基本計画（仮称）の素案について
- (2) まとめ

2 審議内容

山口健康福祉部長から、資料2、3により「社会健康医学研究推進基本計画（仮称）の素案」について説明した後、各委員による議論を行った。

- (1) 社会健康医学研究推進基本計画（仮称）の素案について

ア 研究の推進

- ・この研究は、研究のための研究ではなく、県民の健康寿命の延伸のための研究であり、県民のための研究であることをまずしっかりと基本計画に記載すべき。
- ・県の地域特性に着目して研究することが必要。ナショナルセンターでやるべきことまでやる必要はない。

- ・社会健康医学の研究は日進月歩であるため、研究体制を充実させていかなければならない。
- ・個人が各年代で受診した健診データをつなげるなど、個人が生涯にわたって自らの医療データを活用できるようにすることが必要。
- ・社会健康医学の研究は、県民の健康意識を高めていく方向で行うべき。
- ・個人情報セキュリティに配慮しながら研究を進めることが重要。
- ・研究の推進に当たりデータを活用する際、県民の協力が必要であるため、計画にも、県民の協力が何よりも重要であることを記載すべき。

イ 人材育成

- ・人材育成に当たっては、MPH（公衆衛生学修士）のような学位が取得できることも魅力。
- ・データの分析ができる人だけではなく、プライバシーに配慮しながら研究もできる人材を育てることが必要。
- ・研究成果を着実に県民へ還元していくためには、地元の医師など社会健康医学に関心のある医療従事者の育成が必要。医師にとっては、日頃の疑問を改めて研究する機会にもなる。
- ・研究成果を県民に実行してもらうためには、健康科学とか行動科学といったヘルスコミュニケーションの視点を持った人材育成が必要。

ウ 成果の還元

- ・社会健康医学の研究は県民のための研究。早期に取り組むことができる研究には直ちに取り組み、成果を県民に着実に還元し、県民の健康寿命の延伸に結びつけることが見えるような記載にしてはどうか。
- ・県内でも西部では、医療機関が充実していて健康寿命も高いが、中部東部と悪くなっている。社会健康医学の研究の成果により、全県の健康レベルをできるだけ同程度に引き上げると記載すれば県民にも分かりやすいのではないか。

エ 拠点となる仕組み

- ・学位というモチベーションがある大学院大学に賛成。
- ・この基本計画で大学院大学まで言及することで、静岡県の本気度が感じられた。
- ・大学院大学はすぐにはできない。リサーチサポートセンターの研究体制を強化しながら、研究者を集めていくことが重要。
- ・新専門医制度においても、医科大学や拠点病院がある県西部に医師が集中してしまう。現場の医師が働きながら研究できる環境が身近にあることは魅力的であるため、医師確保の面からも大学院大学が県中部にあることが有効。
- ・最終的には大学院大学を目指す。その間、リサーチサポートセンターなど

で着実に成果と実績を積み上げ研究体制を充実させ、早期に大学院大学とならざるを得ないという戦略で進めるべき。

(2) まとめ

- 長期的な視点に立って研究に取り組み、人材をしっかりと育成するためには、県は、社会健康医学に特化した大学院大学の設置を目指すべき。
- 県は、短期的取組と長期的取組を組み合わせることで社会健康医学の研究を推進する道筋を作るべき。
- 早期に取り組むことができる研究を、リサーチサポートセンター等を活用して取り組み、成果を還元することにより、県の社会健康医学の取組を県民にアピールすべき。